

## 肺結核治療終了時に偶然発見された気管支炎症性ポリープの一例

2021年から2022年まで結核治療を行った患者さん

### ・研究協力のお願い

当科で肺結核治療終了時に偶然発見された気管支炎症性ポリープの症例報告を行います。この症例報告は、比較的まれな疾患である気管支炎症性ポリープの特徴を調査して報告するものです。直接の同意はいただかず、この掲示によるお知らせをもってご同意をいただいたものとして実施されます。患者さんにおかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合や途中から参加の取りやめを希望される場合、また研究資料の閲覧、開示、個人情報の取り扱いなど研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### (1) 研究の概要

症例報告：肺結核治療終了時に偶然発見された気管支炎症性ポリープの一例

研究期間：許可日から2027年12月まで

当院における研究責任者：国立病院機構奈良医療センター 内科医長 久下 隆

### (2) 研究の意義、目的について

気管支炎症性ポリープは比較的まれな疾患であり、調査して症例報告を行う意義があります。

### (3) 研究の方法について

2021年から2022年まで肺結核の治療を行った患者さんの年齢、性別、レントゲン、CT、内視鏡所見、細菌検査結果、病理結果など。

### (4) 共同研究機関

なし

### (5)個人情報保護について

研究にあたっては、個人を特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等に則り、個人情報の保護に努めます。

### (6)研究成果の公表について

この症例報告は学会発表、学術雑誌などで公表する予定です。

### (7)当院における問い合わせ等の連絡先

国立病院機構奈良医療センター 内科医長 久下 隆

〒630-8053 奈良県奈良市七条二丁目789番地 電話番号 0742-45-4591（代表）